

# 文教委員会資料③

## 2 所管事務の調査（報告）

### (2) 夢見ヶ崎保育園移転再整備事業について

資 料 夢見ヶ崎保育園移転再整備事業について

こども未来局

(平成28年11月18日)



# ◎夢見ヶ崎保育園移転再整備事業について

## 検討の経過

### 【H27年度】

#### ●日吉健康ステーション業務の区役所への一元化

・日吉合同庁舎2階で実施されていた日吉健康ステーション業務が、区役所へ一元化されることに伴い、日吉出張所2階の跡利用について区から照会があり、こども本部にて近隣の夢見ヶ崎保育園を日吉健康ステーション跡（日吉合同庁舎2階）に移転再整備することで検討を開始。

※夢見ヶ崎保育園は、今後、日吉地区唯一の公立保育所（ランチ園）となるため、「新たな公立保育所のあり方基本方針」に掲げる子育て支援機能や民間保育所等への支援機能を今後強化する必要がある。

#### ●日吉合同庁舎改修基本計画等策定業務

・夢見ヶ崎保育園移転再整備（日吉合同庁舎改修）事業については、**日吉合同庁舎の業務を継続しながら再整備すること（居ながら工事）を基本として**基本計画等の策定を行った。

・また、当初日吉合同庁舎の屋上を園庭として利用することを想定していたが、公立保育園として地上に園庭を確保することが望ましいため、**日吉出張所の臨時駐車場（旧日吉出張所庁舎跡地）を園庭として使用することを計画。**



### 【H28年度】

#### ●日吉合同庁舎改修基本実施設計業務

基本計画策定時に想定できなかった事項や再調整が必要なことなど**多くの課題が判明し**、特に**出張所、市民館、図書館等の市民が継続利用する施設として、居ながら工事を前提とした部分に多くの問題が見つかり**、工事の進め方等に関し再検討をする必要性が発生。

- ・躯体壁撤去や屋上園庭整備による騒音振動により、合同庁舎内の各施設への負担の増大
  - ・電気、ガス、給排水、消火設備、空調、情報システムの切替・移設箇所が予想以上に多く、施設ライフラインへの影響大
  - ・2階水廻り工事に伴う、1階直下部分への影響や3階トイレの利用制限
- 居ながら工事が不可能であることから、仮設庁舎の建設や、市民館・図書館分館の長期休館が必要である。**
- ・臨時駐車場への園庭整備において、残存する旧日吉出張所庁舎のコンクリート床や基礎の撤去が必要となる可能性もあり、場合によっては臨時駐車場の擁壁の改良も必要となる。

仮設庁舎建設・供用や園庭整備において時間を要することから**新園の開設が遅れる(新園約2年、園庭は更に半年以上)**。  
仮設庁舎や建設規模の増大に伴い、**事業費全体で最低約8億円が必要**（平成27年度当初約4億8千万円の見込）

夢見ヶ崎保育園移転再整備工程表（当初計画と仮設庁舎を設置した場合の比較）

項目	2016(平成28年度)	2017(平成29年度)	2018(平成30年度)	2019(平成31年度)	2020(平成32年度)	2021(平成33年度)	2022(平成34年度)
当初	入札 基本実施設計・行政手続	入札 庁舎改修工事・園庭整備工事	●10月～新施設運営予定				
仮設庁舎設置の場合	入札 基本実施設計・行政手続	当初開設H30年10月	入札 庁舎改修工事	●10月～新施設運営予定(園庭無しスタート)			
園庭関係				遅延後開設H32年10月	入札 園庭整備工事	●園庭使用開始	
仮設庁舎関係		※策定止設計のため必要 入札 既存擁壁調査委託	入札 仮設庁舎設計委託	入札 仮設庁舎整備工事	仮設庁舎の利用	仮設解体	

#### ●夢見ヶ崎保育園を現地で建替える場合の経費について

- ・園舎(延床 800㎡)新築工事約 3億6,000万円
- ・旧園舎解体工事費約 4,400万円
- ・仮設園舎リース料(土地の賃借料含む)約 8,700万円

現地建替え経費：  
計約 4億9,000万円

現計画の場合、現地建替えと比べ約3億円経費が増す

#### 【事業実施の判断について】

- ・当初の予定よりも日吉合同庁舎の**市民利用に及ぼす影響の増大**が見込まれる。
- ・現地建替え経費の約4億9,000万円と比較した場合、**最低約8億円**の経費を要する現計画は**費用対効果が非常に悪い**。
- ・仮設庁舎建設に伴い、**保育園の開園に約2年の遅延が生じるとともに**、臨時駐車場の園庭の整備は仮設庁舎撤去後の整備であるとともに、擁壁関連工事も絡む可能性があることから**園庭の使用開始は更に多大な遅延**が見込まれる。

市民に及ぼす影響・費用対効果・スケジュール等の面から事業の中止が妥当